

腰部脊柱管狭窄症は背骨に存在する神経の通り道「脊柱管」が狭くなり、神経を圧迫してしまう病気です。歩くと尻や脚にしびれを感じ、長時間歩くのが難しいといった症状に悩まされます。特徴的な症状や治療法について専門家に聞きました。

腰部脊柱管狭窄症



山本秀三医師

腰部脊柱管狭窄症はさまざまな程度の腰痛に加え、神経が圧迫されることにより、立ち上がったり歩いたりした時に、脚がしびれたり痛みを感じたりとい

われ、椎間板ヘルニアに似た症状を起すことや、重度になると排尿障害などが生じることもあります。

治療法は大きく分けて、保存的治療と呼ばれる方法か、手術があります。保存的治療ではまず薬による症状コントロールを目指します。消炎鎮痛剤や神経への血流を改善する薬、神経か

これらの治療でも十分な改善が見られなければ、神経やその周囲に鎮痛薬などを直接注入する腰部硬膜外ブロックや神経根ブロックなども選択肢になります。これらブロック療法については整形外科以外でも、麻酔科医師が専門的な治療を行うペインクリニックが増えています。

手術の内容や方法の選択は、疾患の程度や状態によって決まりますので、経験豊富な脊椎の専門医師に相談されることをお勧めします。

(兵庫県医師会、山本秀三 姫路市、阿保クリニック院長)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

神経圧迫で痛みやしびれ

う症状が現れます。特徴として、多くの場合、長時間連続で歩き続けることが難しくなり、前かがみで腰を曲げて休憩すると数分程度で回復する「間欠性跛行」と呼ばれる歩行障害が現れます。中には特定の神経だけが圧迫

らの痛みにも効果を発揮する薬、慢性的な痛みに対する薬などを組み合わせます。また炎症の状態に応じてコルセット固定による安静維持、運動療法や電気刺激などを与える物理療法によるリハビリも並行して行います。

びれやしびれや歩行障害が強い場合には、手術を検討する必要があります。最近ではできるだけだけ体への負担が少ない方法で、脚や腰の症状を軽減する手術を行う施設が増えていきます。手術用顕微鏡や内視鏡を使い、関節や筋肉に負担をかけずに神経の圧迫を取